

# 大淀川水系工事実施基本計画と大淀川水系河川整備基本方針（案） 比較表

平成14年11月15日

国土交通省河川局

大淀川水系工事実施基本計画と大淀川水系河川整備基本方針（案）の比較表

大淀川水系工事実施基本計画	大淀川水系河川整備基本方針（案）
<p style="text-align: center;">大淀川水系工事実施基本計画</p> <p style="text-align: center;">目 次</p> <p>1．河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 . . . . . 1</p> <p>2．河川工事の実施の基本となるべき計画に関する事項 . . . . . 8</p> <p>（1）基本高水ならびにその河道及び洪水調節ダムへの配分に関する事項 . . . . . 8</p> <p>（2）主要な地点における計画高水流量に関する事項 . . . . . 9</p> <p>（3）流水の主要な機能を維持するため必要な流量に関する事項 . . . . . 13</p> <p>3．河川工事の実施に関する事項 . . . . . 12</p> <p>（1）主要な地点における計画水位、計画横断形、その他河道計画に関する重要な事項 . . . . . 12</p>	<p style="text-align: center;">大淀川水系河川整備基本方針（案）</p> <p style="text-align: center;">目 次</p> <p>1 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 . . . . . 1</p> <p>（1）流域及び河川の概要 . . . . . 1</p> <p>（2）河川の総合的な保全と利用に関する基本方針 . . . . . 5</p> <p>2 河川の整備の基本となるべき事項 . . . . . 8</p> <p>（1）基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項 . . . . . 8</p> <p>（2）主要な地点における計画高水流量に関する事項 . . . . . 9</p> <p>（3）主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項 . . . . . 10</p> <p>（4）主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項 . . . . . 11</p> <p>（参考図） 大淀川水系図 <span style="float: right;">巻末</span></p>

大淀川水系工事実施基本計画と大淀川水系河川整備基本方針（案）の比較表

大淀川水系工事実施基本計画	大淀川水系河川整備基本方針（案）
<p>1．河川の総合的な保全と利用に関する基本方針</p> <p>大淀川水系は、その源を鹿児島県曾於郡金御岳に発し、横市川、沖水川、庄内川、高崎川等を合わせつつ、都城盆地を貫流して、中流の狭さく部に入り岩瀬川等を合わせ、宮崎平野に出てさらに本庄川を合わせ、宮崎市において日向灘に注ぐ。</p> <p>その流域は、鹿児島、熊本、宮崎の三県にまたがり、面積は2,230km<sup>2</sup>に及び、宮崎県における社会、経済、文化の基盤をなし、本水系の治水と利水についての意義はきわめて大きい。</p>	<p>1．河川の総合的な保全と利用に関する基本方針</p> <p>(1) 流域及び河川の概要</p> <p>大淀川は、その源を宮崎県と鹿児島県の県境に位置する中岳（標高452m）に発し、沖水川等の支川を合わせながら、都城盆地を貫流して、中流の山間狭窄部を流れ、宮崎平野に入った後、本庄川等の支川を合わせ、宮崎市において日向灘に注ぐ、幹川流路延長107km、流域面積2,230km<sup>2</sup>の一級河川である。</p> <p>大淀川流域は、やや不規則な扇状を呈し、宮崎県、鹿児島県及び熊本県の3県にまたがっている。その流域は宮崎県南部のほぼ全域を占めており、この地域における社会、経済、文化の基盤をなすとともに、水量も豊富で自然環境や景観も特に優れていることから、本水系の治水・利水・環境についての意義はきわめて大きい。</p> <p>流域の上中流部には、灰白色の火山噴出物（シラス）が厚く堆積した一大盆地（都城盆地）が形成され、また、下流部では沖積層が広く分布した宮崎平野が形成されている。流域内の年間降水量は約2,800mmで多雨地域となっている。</p> <p>源流から都城盆地に至る上流部は、ほとんどがシラスによって形成された谷底平野に広がる市街地と田園地帯を緩やかに流れ、土の剥き出しとなっている自然河岸にカワセミやヤマセミが見られる。河床は砂礫層から成り、瀬ではオイカワ、淵ではコイなどが生息している。</p> <p>日向山地と鱈塚山地に挟まれた山間狭窄部の中流部では、自然林と人工林が混在する険しい地形の中を流れ、河岸にはオギやメダケが群生し、瀬ではカマキリ、淵ではウグイなどが生息している。</p> <p>また、最大支川の本庄川流域は四万十層群に覆われた急峻な地形を有し、国内でも貴重な照葉樹林帯の中を流れており、九州屈指の清流となっている。平野部にはいと蛇行が大きく、瀬や淵が交互にみられ、瀬にはアユの産卵場が</p>



























